

学習内容系統図【球技 ゴール型】

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年
	○ 運動遊びの楽しさに触れる	○ 運動の楽しさや喜びに触れる	○ 運動の楽しさや喜びを味わう
	○ 行い方を知る	○ 行い方を知る	○ 行い方を理解する
	○ 易しいゲームをする	○ 易しいゲームをする	○ 技能を身に付け、簡易化されたゲームをする
知識 及び 技能	<p>※ボールゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをする <p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■・・・ボール操作 □・・・ボールを持たない動き <ul style="list-style-type: none"> ■ ねらったところに緩やかにボールを転がす、投げる、蹴る、的に当てる、得点する ■ 相手コートに緩やかにボールを投げ入れたり、捕ったりする ■ ボールを捕ったり止めたりする 	<p>※ゴール型ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをする <p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■・・・ボール操作 □・・・ボールを持たない動き <ul style="list-style-type: none"> ■ 味方へのボールの手渡し、パス、シュート、ゴールへのボールの持ち込み <ul style="list-style-type: none"> □ ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動 □ ボール保持時に体をゴールに向ける 	<p>※ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ボール操作とボールを持たない動きによって、簡易化されたゲームをする <p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■・・・ボール操作 □・・・ボールを持たない動き <ul style="list-style-type: none"> ■ 近くにいるフリーの味方へのパス ■ 相手に取られない位置でのドリブル ■ 得点しやすい場所への移動とパスを受けてからのシュート <ul style="list-style-type: none"> □ ボール保持者と自分の間に守備者が入らない位置へ移動する □ 得点しやすい場所への移動への移動とパスを受けてからのシュート □ ボール保持者とゴールの間に体をいれた守備
	<p>※鬼遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定の区間で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする <p>例示</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク（タグやフラッグ）を取ったりする □ 相手（鬼）のいない場所への移動、駆け込み □ 少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりする □ 空いている場所を見つけて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりする 		

中学校 第1学年及び第2学年	中学校第3学年／高等学校入学年次	高等学校その次の年次以降
<input type="radio"/> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう	<input type="radio"/> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう	<input type="radio"/> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう
<input type="radio"/> 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する	<input type="radio"/> 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する	<input type="radio"/> 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解する
<input type="radio"/> 基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する	<input type="radio"/> 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する	<input type="radio"/> 作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する
<p>例示</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 球技には、集団・個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があること ■ 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として行われていること ■ 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること ■ 対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であること ■ 球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なること 	<p>例示</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること ■ 戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであること ■ ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができること ■ 練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには、自己観察や他者観察などの方法があること 	<p>例示</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 球技では各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があること。 ■ 球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができること。 ■ 課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成させるための課題の設定、課題解決のための練習方法などの選択と実践、ゲームなどを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があること。 ■ 競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあること。
<p>※ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする 	<p>※ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする 	<p>※ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防できる
<p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ……ボール操作 □ ……ボールを持たない動き 	<p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ……ボール操作 □ ……ボールを持たない動き 	<p>【例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ……ボール操作 □ ……ボールを持たない動き
<ul style="list-style-type: none"> ■ ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをする ■ マークされていない味方にパスを出す ■ 得点しやすい空間にいる味方にパスを出す ■ パスやドリブルなどでボールをキープすること 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゴールの枠内にシュートをコントロールすること ■ 味方が操作しやすいパスを送る ■ 守備とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶ ■ 味方が作り出した空間にパスを送る ■ 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶ ■ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープ ■ 隊形を整えるためにボールを他の空間に動かす
<ul style="list-style-type: none"> □ ボールとゴールが同時に見える場所に立つ □ パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動く □ ボールを持っている相手をマーク 	<ul style="list-style-type: none"> □ ボール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れる □ パスを出した後に次のパスを受ける動き □ ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れる □ ゴール前の空いている場所をカバー □ ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守る 	<ul style="list-style-type: none"> □ 侵入する空間を作り出すために、チームの作戦に応じた移動や動き □ シュートやトライをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動 □ 自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動 □ 味方が抜かれた際、攻撃を止めるためのカバーの動き □ チームの作戦に応じた守備位置を移動し、相手のボールを奪うための動き □ 得点を取るためのフォーメーションやセットプレイなどのチームの役割に応じた動き □ 一定のエリアから得点しにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動き